

05.松原市民図書館 読書の森



最寄駅を降りると簡素な住宅街で、そこに突然シンボリックな図書館が現れるため目を引いた。あまり大きな建物ではないため事前に調べた古墳群のイメージに沿った建物になっているのか気になっていたが、町のシンボルになりえていた。40°近い暑さであったが、外階段途中の踊り場や屋上にも学生が利用しているのが見られ、テラス部分もそりたった壁が日影をつくり、多くの人々が利用していた。裏の植栽部分は排水をため池に直接落としていたりと大胆な部分も見受けられた。600 mmの厚さの壁であるためか、屋上やテラスにはそれなりの重量が出るであろう植栽も植えられており自然と一体となった落ち着いた空間演出がなされていた。

内部空間はスキップフロアが効果をなし、どの位置に座っても天井が高く感じられ居心地よくいつまでもいたいと思える空間であった。またRCの壁等を本棚に上手く活用しており魅力的であった。子供の図書の間では様々な照明がシーンごとに配置されており、金沢文庫PJで使用予定の照明も使われていたため参考になった。

今回の研修旅行で一番感銘を受けた建築であり、地元の人に愛され、自分も何度も通いたくなる建築であった。

須藤 凜